

新 企 号
令和6年 5月31日

総務大臣 松本 剛明 殿

新冠町長
鳴海 修司

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日：令和3年3月17日
- (2) サービス開始日：令和3年4月19日

2. 目標達成状況

指 標	目 標 (目標年度)	実績値			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公共施設 Wifi の設置数	10箇所 (令和3年度)	10箇所	10箇所	10箇所	—
家庭用 Wifi の設置数	120箇所 (令和3年度)	131箇所	151箇所	151箇所	—

(参考)

提供可能回線数	利用回線数			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
406回線	131回線	151回線	151回線	—

3. 目標達成に向けて実施した取組

- ・整備は2期に分けて実施したことから1期目の整備年である令和元年度4月に事前加入申込み及び加入後のWi-Fi設置に対する同意を求める申込活動を実施（最終的な事前加入申込件数125件（179回線））。
- ・令和元年11月に光ブロードバンド説明会を開催（令和2年度はコロナ禍のため実施できなかった）。
- ・令和3年11月に農業ICTセミナーを開催（日高管内7町合同での開催～オンラインでも同時開催した）。

4. 評価

- ・公共施設Wi-Fiの設置については、令和3年度において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら、計画どおり整備することができた。
- ・家庭用Wi-Fiの設置数については、令和3年度において目標数を達成したが、その後も順調に推移している。その要因として、整備した地域は中山間地域が多くもともと整備を強く要望していた地域であったことに加え、事前活動や説明会を実施し、加入促進活動を行ったこと、また、コロナ禍の影響が大きく作用し、そういった状況下でも日常生活や経済活動を続けていく上ではオンライン環境が必須であるということが広く知れ渡り、結果、加入件数が伸びていったものと考察している。
- ・利用回線数については、家庭用Wi-Fiの設置目標数及び事前加入申込件数を上回っており、中山間地域が多い整備エリアにおいては、生活や事業活動において、重要な情報インフラになっているものと考察している。

5. 課題への対応策

公共施設及び家庭用Wi-Fiの設置数については、目標数を達成し、町内における情報格差の是正を図ることができたと評価しているが、それは1つの指標に過ぎず、通過点と考えている。今後は、整備したエリアにおいて、この通信基盤を活用して何ができるのか、何をすれば持続可能な地域を形成できるのかということを念頭に取り組みを行っていく必要があると考えている。また、当町のみでできることは限られてくるため、近隣自治体との連携や民間企業との協働、企業版ふるさと納税の活用も行いながら、様々な分野におけるICTの利活用や整備した基盤を活用した施策に取り組んでいく。

また、整備したエリアは市街地（役場庁舎所在地）から20km以上離れている地域も多くあり、最寄りの商店やコンビニエンスストアまで車で20分程度掛かる地域で、いわゆる過疎化が進んでいる地域でもあることから、インターネットを介した公的・民間を問わず様々なサービスの享受が受けられるような環境を今後も継続して構築していくと共に、住民に対しても様々なサービスの周知やICTの利活用を積極的に行い、利用回線数の確保に取り組んでいきたい。